

令和4年度 事業報告

自 令和4年4月1日

至 令和5年3月31日

社会福祉法人 大阪市西区社会福祉協議会

1 会議

第1回理事会

6月2日

- 第1号議案 令和3年度事業報告（案）について
- 第2号議案 令和3年度決算報告及び監査報告（案）について
- 第3号議案 理事候補者の推薦（案）について
- 第4号議案 評議員候補者の解任及び選任（案）について
- 第5号議案 評議員選任・解任委員の選任及び解任について（案）
- 第6号議案 第1回評議員会の開催（案）について
- 第7号議案 諸規則等の一部改正（案）について
- その他 会長職務執行状況の報告について
地域福祉推進基金の債券売却と国債の買付について

第1回善意銀行運営委員会

6月2日

- 第1号議案 各地域への助成金交付について（案）

第1回西区共同募金配分金・地域募金助成金審査委員会

6月2日

- (1)令和3年度 西区共同募金配分金・地域募金助成事業の結果報告について
- (2)令和4年度 西区共同募金配分金について
- (3)令和4年度 西区共同募金配分金・地域募金助成金事業(案)

第1回広報部会

6月2日

- 第1号議案 ふれあい西区75号の発行について

第1回西区ボランティア・市民活動センター運営委員会

6月2日

- (1)令和3年度 事業報告(案)
- (2)令和4年度 事業計画(案)
- (3)令和4年度 西区ボランティア活動事業助成金交付について(案)

第1回評議員選任・解任委員会

6月8日

- 第1号議案 評議員候補者の選任（案）について

第1回評議員会

6月17日

- 第1号議案 令和3年度事業報告（案）について
- 第2号議案 令和3年度決算報告及び監査報告（案）について
- 第3号議案 理事の選任（案）について
- 第4号議案 職員就業規則等（案）の一部改正について
- その他 新評議員の選任の報告について
評議員選任・解任委員の選任及び解任の報告について
会長職務執行状況の報告について
地域福祉推進基金の債券売却と国債の買付について

第2回西区共同募金配分金・地域募金助成金審査委員会 書面会議	7月27日
(1)令和4年度 共同募金配分金・地域募金助成金申請団体に対する助成金交付 ・不交付及び交付金額の決定について	
第1回西地区共同募金会理事会 書面会議	8月29日
令和3年度会計監査報告	
第1号議案 令和3年度西地区共同募金会実績報告	
第2号議案 令和3年度西地区共同募金会事務費収支報告	
第3号議案 令和4年度西地区共同募金配分状況報告	
第4号議案 令和4年度西区共同募金会一般募金運動の実施について	
第2回広報部会	9月16日
第1号議案 ふれあい西区76号の発行について	
第2回善意銀行運営委員会 書面会議	11月24日
第1号議案 歳末助け合い運動にかかる助成金について（案）	
第2号議案 専門職向けの地域活動のに関する情報冊子作製にかかる助成金について（案）	
第3回広報部会	12月7日
第1号議案 ふれあい西区77号の発行について	
第2回理事会	3月9日
第1号議案 令和4年度第1次追加補正予算（案）について	
第2号議案 令和5年度事業計画及び予算（案）について	
第3号議案 職員就業規則・常勤嘱託就業規則・臨時職員就業規則の改定（案）及び職員給与規定の改定（案）について	
第4号議案 役員等賠償責任保険の契約更新（案）について	
第5号議案 第3回評議員会の開催（案）について	
その他 評議員の退任報告	
令和5年度地域社会福祉協議会会長及び役員について	
令和5年度西区コミュニティ育成事業の公募について	
地域包括支援センター事業の公募について	
会長職務執行状況の報告について	
第2回評議員選任・解任委員会	3月15日
第1号議案 評議員の解任（案）について	

第2回評議員会

3月24日

- 第1号議案 令和4年度第1次追加補正予算（案）について
- 第2号議案 令和5年度事業計画及び予算（案）について
- 第3号議案 職員就業規則常勤嘱託就業規則、臨時職員就業規則の改定（案）及び
職員給与規定の改定（案）について
- 第4号議案 役員等賠償責任保険の契約更新（案）について
- その他 評議員解任の報告について
令和5年度地域社会福祉協議会会長及び役員について
令和5年度西区コミュニティ育成事業の公募について
地域包括支援センター事業の公募について
会長職務執行状況の報告について

2 事業

(1) 各事業等

- 6月15日 広報紙「ふれあい西区」第75号発行
- 6月30日 子育て交流会「てをつなごう！」開催（100組参加）
- 10月6日 金婚夫婦お祝いのため記念品贈呈（該当者46組）
- 10月17日 広報紙「ふれあい西区」第76号発行
- 10月29日 そよかぜまつり講演会「子どもの睡眠の問題と神経発達障害」 ハイブリッドで開催
講師：武庫川女子大学教授 中井昭夫氏
（参加者：46名）
- 12月20日 障がいあれこれ～聞いて聞いて私たちの声～パート17～
「災害発生時の障がい者への支援について」
講師：八幡隆司氏（認定NPO法人ゆめ風基金）（参加者：29名）
- 1月16日 広報紙「ふれあい西区」第77号発行
- 2月10日 災害・防災研修「だれもが災害時の担い手に～平時と災害時における地域の役割～」
講師：西区地域包括支援センター 吉田美幸
外国人女性の会パルヨン 代表理事 ハッカライネン・ニーナ氏
（参加者：47名）
- 2月18日 西区社会福祉講演会「もしもの時に備える」・個別相談会
講師：成年後見センター・リーガルサポート大阪支部 高木大悟氏
（参加者：講演会「27名、相談会13名」）

(2) その他定例開催事業等

- | | |
|--------------------------------|----|
| ・西区高齢者食事サービス事業連絡会 | 3回 |
| ・子育て交流会「てをつなごう！」連絡会 | 4回 |
| ・子育て情報紙編集委員会 | 2回 |
| ・西区障がい者・児ネットワーク「そよかぜ」（偶数月第4火曜） | 6回 |
| ・西区社会福祉施設連絡会・研修会 | 2回 |

3 善意銀行

自 令和4年4月1日
至 令和5年3月31日

1. 現金奉仕口座

〈敬称略〉 (単位：円)

月 日	現金預託者名	金 額	月 日	現金預託払出先・内容	金 額
6月7日	川村龍彦	8,000	6月～1月	14地域社会福祉協議会助成金	1,120,000
6月17日	今田義彦、今田けい子	20,000	7月26日	区内こども食堂（7団体）	14,000
6月21日	株式会社丸高製作所	87,000		うつぼこども食堂、ながほりこども食堂、夕刻の場いとらべ、てらキッズ、ほりえこども食堂、インドレストラン Shamaこども食堂、すぎのこ学童クラブ	
6月30日	卓球サークルA	113,153			
7月19日	東京商事有限会社	50,000			
9月12日	匿名希望	50,000			
9月28日	今田義彦	10,000	7月20日	14地域子育てサークル助成金	280,000
11月28日	匿名希望	2,000	11月25日	西区民生委員児童委員協議会助成金 （歳末助け合い）	150,000
12月9日	匿名希望	1,680,000			
12月20日	株式会社丸高製作所	90,000	3月9日	生活支援体制整備事業	150,000
3月20日	今田義彦	10,000		（情報冊子作成）	
預託合計		2,120,153	払出合計		1,714,000

2. 物品奉仕預託口座

〈敬称略〉

月 日	物品預託者名	預託物品名	数 量
4月6日	岡田光弘	フェイスシールド	100枚
4月7日	匿名希望	紙おむつ	
6月6日	匿名希望	アルコール消毒液	6箱（5L4本入り）
6月9日	田中早紀	ベビーバス	1台
6月14日	岡田光弘	フェイスシールド	100枚
6月30日	国連P.R.I.D.E日本	お米	10kg×1袋
8月19日	匿名希望	介助式車イス・自立型杖・折りたたみ式杖	各1
9月22日	中井智鶴子	文具（クリアフォルダー、セロテープ、他）	
11月1日	国連P.R.I.D.E日本	お米	10kg×1袋
11月2日	五大物産株式会社	食品（レトルト食品、調味料、他）	152箱
1月5日	岡田光弘	フェイスシールド	300枚
1月18日	東急ドエル・アルス阿波座	お餅	1kg×5袋

月 日	物品払出先	払出物品名	数 量
4月7日	西在宅デイサービスセンター	紙おむつ	
6月16日	西区子ども子育てプラザ	フェイスシールド	10枚
6月9日	西区子ども子育てプラザ	ベビーバス	1台
6月30日	西在宅デイサービスセンター	お米	10kg×1袋
7月26日	区内子ども食堂（7団体） うつぼこども食堂、ながほりこども食堂、 夕刻の場いるとらべ、てらキッズ、ほりえ こども食堂、インドレストラン Shamaこども も食堂、すぎのこ学童クラブ	使い捨ておしぼり	5箱
8月19日	西在宅デイサービスセンター	自立型杖・折りたたみ式杖	各1
8月19日	西区社会福祉協議会	介助式車イス	1台
8月19日	西区子ども子育てプラザ	お餅	1kg×84袋
11月1日	西在宅デイサービスセンター	お米	10kg×1袋
11月4日	ぶらっとほーむ西、西区在宅サービスセ ンターにしながらほり、スマイル西ひか り、てらキッズ運営委員会、令和品の会 （ほりえこども食堂）、ながほりこども 食堂、うつぼ子ども食堂、こもれば（こ ども食堂いるとらべ）、すぎのこ学童ク ラブ 西区社会福祉協議会（西区民まつり「文 化と健康のつどい」においてフードパン トリーを開催）	食品（レトルト食品、調味料、他）	152箱
1月18日	株式会社デステック	お餅	1kg×5袋

4 地域福祉関係

地域福祉活動を推進するため、地域社会福祉協議会への助言、指導、高齢者食事サービス、ふれあい喫茶、子育てサロン等の住民福祉活動への支援、区、関係団体や様々な支援連絡会との連携や支援、ボランティア活動の支援、学校や企業への福祉教育の推進、広報活動、防災訓練など地域住民や関係団体と連携し・協働し区のニーズや課題に対して取り組みを進めた。

事業内容	事業内容（具体的に）	実施場所	実施時期	回数等
（１）地域福祉活動に対する助言・指導等事業				
ア 地域福祉活動の状況把握と助言・情報提供	各地域会館や活動拠点へ出向き、地域活動者や活動現場から福祉活動実施状況の確認を行い、必要な情報提供および活動者同士の調整等を行った。	各地域会館、区社協、福祉施設、区内公園など	通年	240回
イ 地域福祉活動にかかわる地域における各種団体の役員・活動者等を対象とした会議・研修の開催及び参画	地域社会福祉協議会、振興町会、地域活動協議会、民生委員児童委員協議会、見守り員連絡会（団体、役員、個人）などが実施・参画する会議やその活動・行事に対する参加・相談支援、講座・研修会の開催。	区社協、各地域会館、医師会館など	通年	89回
	コミュニティ育成など地域づくりに関係する地域関係者との会議・研修などを行い、作品展、パバママキッズよつといでなどの実施により多世代の地域コミュニティへの参加を目指した。	西区民センター、区役所、区社協、ヴィアーレ大阪など	通年	42回
ウ 地域福祉推進のための計画・ビジョン・アクションプラン等の策定・推進への参画	区の取り組みに関連する会議や行事の計画・実施に向けての部会など（「てをつなごう連絡会」など）への参画および取り組みへの支援	区社協、地域会館、区民センターなど	通年	36回
エ 地域支援システム等の検討・推進への参画	民生委員児童委員及び主任児童委員と区内小・中学校との交流会での情報提供、高齢者支援担当者部会、つながる場、障がい者自立支援協議会など各種会議へ参加。	区役所、区社協	通年	14回
オ 広報啓発	区社協広報誌・ボランティア通信・周知チラシの発行など区社協事業・講座の広報や啓発活動。区内企業や施設等へチラシ等の設置場所を協力依頼し、区民に区内施設情報等を広く周知した。ホームページやSNSを活用した広報啓発を行った。	各商業施設等、区社協など	通年	20回

(2) ボランティア活動等の支援事業				
ア ボランティア活動の登録・需給調整	ボランティア需給調整、新規活動者の登録、ボランティア活動の需給調整等を行った。	区社協	通年	45回
イ ボランティアに関する相談・問い合わせ等への対応	活動希望者の相談・問い合わせに対する助言・指導、個別活動に関する相談・問い合わせに対する助言・指導などを行った。	区社協	通年	113回
ウ ボランティアグループの支援	ボランティアグループへの市民活動センターの貸与、活動についての助言指導や助成金の情報提供、現場での状況把握を行った。	ボランティア・市民活動センター、区内施設、区役所、区民センターなど	通年	42回
エ ボランティアの養成	初心者向け・活動者向けなどボランティア講座の開催やボランティア同士の連携機会の調整・支援、活動場所の確保につながる会議・研修などの実施（ボランティア交流会など）	区社協、子ども子育てプラザ	通年	6回
オ 福祉教育の推進	学生や企業などを対象に福祉教育を行い、高齢者や障がい者への理解を深め、実際のボランティア活動につなげた。	区社協、小学校、図書館、地域会館など	通年	11回
(3) 地域福祉推進のための連絡調整事業				
ア 地域福祉課題の整理及び関係機関との連絡調整、課題解決方策の検討・協議	区役所、地域活動者、事業者等との連絡調整を行い、課題解決に向け検討し、調整を行い、課題解決に向けた検討会や協議を行った。社会福祉講演会を開催した。	区社協、地域会館など	通年	54回
イ 施設連絡会・部会等の準備・開催	施設連絡会を開催し、各施設における情報共有や課題を抽出し、解決策について検討した。	区社協、区内社会福祉法人、西区役所	通年	4回
	高齢者、障がい者・児関係の部会、子育て支援連絡会等にて関係者、当事者とともに情報共有や課題抽出を行い、解決策について検討した。	区社協など	通年	4回
(4) 「区災害ボランティア活動支援センター」の設置及び総合調整等				
	環境整備や防災教育（オンライン型防災アトラクション）を開催。	区社協、区役所、医師会館、小中学校、	通年	16回
	区内学校や地域内で実施される防災訓練への参画と状況把握。	区内マンションなど	通年	10回
これらの活動に対するアンケート結果等をもとにした自己評価				3.7

5 ボランティア・市民活動センター事業

さまざまなボランティアグループや個人ボランティアの活動拠点として運営している。ボランティア・市民活動センターにアクリル板やサーキュレーターを設置し、利用のルールを決めることで、コロナ禍でも利用を継続できるよう後方支援を行った。また、感染症対策に配慮しながら、講座の開催や福祉教育、防災への取り組み、ボランティア交流会などを実施し、新たな人材の発掘やスキルアップにつなげるとともに、関連機関との連携をより深めるよう取り組みを進めてきた。

1. 重点的に取り組んだ内容

	取り組んだ内容	詳細	成果・今後の方向性
1	ボランティア・市民活動センターでのサロン活動について	ワイワイほっとサロン 共催：大阪西区100才倶楽部 毎月第4月曜日 サロンそよかぜ 共催：西区障がい者・児 ネットワーク「そよかぜ」 奇数月第2土曜日	新型コロナウイルス感染症の影響により活動を中止した。運営者、参加者ともに活動の再開を切望しており、今後の情勢を見ながら再開を検討していく。 新型コロナウイルス感染症の影響により活動を中止した。サロンに集う方々が気軽に悩みを分かち合い、障がい者・児の福祉の向上を目指し、情勢を見ながら再開を検討していく。
2	福祉教育の推進	疑似体験等を通して身近で出来る支援を学ぶことを伝える。学校での体験授業では校区の役員や登録ボランティアグループの参加も得て充実した福祉教育の場を目指す。	新型コロナウイルス感染症の影響により、1校のみ開催することができた。点字と手話のボランティア団体と協働し、当事者の講話を聞いた後で点字と手話の体験をした。困っている人がいたら、声かけをするなど行動に移すことができるように、ふりかえりをした。
3	ボランティア養成講座の開催	高齢者にスマホを教えるサポーターの養成講座を開催した。	昨年度発足したボランティアグループ「スマホくらぶ」のスキルアップと新たなメンバー募集のため、スマートフォンの使い方やLINE講座を開催した。地域のスマホ講座にサポーターとして活動できるように地域と団体をつなげた。
4	登録ボランティアグループの周知	ボランティアグループ紹介冊子の更新	「みんなつながるボランティア・市民活動センター」の情報更新。より見やすくイメージが伝わりやすいよう冊子に写真を入れ改訂した。また、年度途中で発足した団体についてはボランティア通信で活動紹介をした。
5	ボランティア通信の発行	ボランティア情報と報告などを掲載した通信を区社協の廊下に大きく掲示したり、各関係機関やスーパー	ボランティア情報を周知し、活動者の意欲向上と新たな担い手の発掘に寄与する。
6	イオン幸せの黄色いレシートキャンペーンへの参画	応募した団体に、買い物客が応援したい団体BOXにレシートを投函することで、レシート合計額の1%が団体に還元される。	イオンの社会貢献の一環であるキャンペーンに9団体が応募。当区社協が窓口となり、イオンと良好な関係づくりが構築された。今後も店舗を借りて社協の広報ができる。

2. 運営・基盤事業

	事業名称	備考（内容等）
1	ボランティア交流会	ロービジョンの勉強会とボランティアの活動紹介を行い、交流を図った。ボランティア保険や助成金、ボランティアグループの紹介動画、活動計画等の説明と連絡をした。（1回開催）
2	ボランティア・市民活動センター運営委員会	西区ボランティア活動助成金の申請審査、西区ボランティア・市民活動センター利用の手引きの策定をした。（1回開催）

3. 啓発・広報事業

	事業名称	備考（内容・啓発先等）
1	西区ボランティア・市民活動センター通信「ボラにし」	令和4年度は4回発行。ボランティア団体の紹介やボランティア活動の募集記事、ボランティア養成講座を掲載。スーパー、公共施設、地域会館に設置し、ホームページ、Instagramに掲載
2	各ボランティア養成講座の取り組み	スーパー、公共施設、地域会館にちらしを設置し、ホームページ、Instagramで広報をした。

4. ボランティア養成事業

	事業名称	実施時期	備考（内容等）
1	初心者向けスマートフォンの使い方講座（アンドロイド限定）	令和4年 10月～ 11月	【講座】3回講座でスマートフォン（アンドロイド限定）の使い方を学ぶ。①大阪ガスハグミュージアム②③西区社会福祉協議会開催。 ①基本的な操作方法など ②カメラ機能について（カメラ撮影、写真の見方、削除方法など） ③LINEについて（LINEのつながり方、スタンプの使い方） 【振り返り会】グループ内で参加者同士の教え合いをしている場面が多く見られた。終了後、ボランティアグループ「スマホくらぶ」が活動周知を行ない、活動見学に行くなどボランティアへの関心が高まった講座となった。
2	おもちゃ病院ドクター養成講座	令和4年 10月～ 11月	【講座】2回講座。講師はおおさか・おもちゃ病院協議会。西区子ども・子育てプラザで実施。 ①おもちゃ病院についての話、実習 ②ボランティア活動についての話、おおさか・にし・おもちゃ病院見学、質疑応答、修了式 【所感】講義だけでなくおもちゃ病院の見学時間を設けたため、活動のイメージがしやすかったようである。終了後は修了生10名全員がメンバーとして加入し、翌月から活動を継続している。
3	スマホサポーター養成講座「楽しく学んで教えよう！～LINEでつながり隊～」	令和5年 3月	【講座】3回講座。講師は株式会社RegalCast。西区社会福祉協議会で開催。メインの講師のサポーターとして登録団体である「スマホくらぶ」のメンバーが活躍した。主にLINEのトークや友達追加、スタンプ、写真の送信、グループの作成、アルバム機能など使う頻度が高いものをについて学んだ。また、グループ内で分からない点を教え合うなどグループワークの時間や教え方のロールプレイを実施した。 【所感】グループワークやロールプレイの時間をも受けたので、学んだことをアウトプットでき、サポーターとして疑似体験をすることができた。修了後は修了生4名が「スマホくらぶ」の活動見学をし、加入をして地域に出て活動をしている。



5. 福祉教育について

	実施場所	内容	対象者	参加人数	実施時期
1	大阪市立中央図書館	座学「高齢になるってどんなこと？」高齢者施策、高齢者の生活、認知症、高齢者入所施設について等	図書ボランティア養成講座受講者	26名	9月
2	九条東小学校	点字・手話	4年生	18名	12月

6. 協働・共催事業について

	事業名称	備考（協働・共催した主な団体名）
1	認知症サポーター養成講座	包括支援センター、介護事業所、専門学校、企業、図書館

○認知症サポーター養成講座

「キャラバン・メイト養成講座」受講しキャラバン・メイトとなり、地域住民や一般職域団体の従業員に対して、認知症の正しい知識を広め、認知症の人や家族を支援する人（認知症サポーター）を養成する講座を開催する。

本会では、地域支援担当、地域包括支援センター、認知症初期集中支援事業、見守り相談室の担当職員がキャラバン・メイトとなり養成講座を実施するとともに、地域の介護事業所、福祉関係施設、企業などのキャラバン・メイトとキャラバンメイト連絡会を運営し、活動している。（平成19年12月から実施）

【西区での認知症サポーター養成講座開催数・養成人数】

令和4年度	開催日数	参加数	参加団体
	12	142名	西区社会福祉協議会（西区民）、大阪歯科学院専門学校、行岡医学技術専門学校、江戸堀地域、関電サービス㈱など

（参考）

年度	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3
開催日数	4	16	12	3	7	14	6	11	13	14	17	19	25	6	22
参加数	108	617	571	103	308	603	139	193	370	486	467	543	594	187	375

7. ボランティア需給調整事業

(1) 個人登録

R4年4月1日現在	新規登録	登録解消	R5年3月31日
23	22	7	38

※登録のみで5年以上活動していない方、及び連絡先に繋がらない方を除き、

(2) グループ登録・一覧

R4年4月1日現在	新規登録	登録解消	R5年3月31日
32	2	2	32

(3) 援助依頼・需給調整

・高齢者	2件
・障がい者・児	2件
・子ども	3件
・その他	1件

※新型コロナウイルス感染症の影響により、区内の高齢者施設はボランティアの受け入れ再開未定。区外の施設から依頼が入り、活動につながった。

6 地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業

大阪市より事業委託として設置された見守り相談室は、要援護者に対し、日ごろからの見守り活動や住民間のつながり、社会資源のネットワーク強化を図るため、地域の各種団体と協力し働きかけを行っている。

また、自らSOSを発信できない要援護者に対して、積極的なアウトリーチにより信頼関係を構築し、適切な支援につなげられるよう取り組んでいる。

現在、見守り相談室では次の事業を実施している。

- (1)機能1：災害時に活用できる要援護者名簿にかかる同意確認・名簿整備
- (2)機能2：見守り支援ネットワークによる孤立世帯等への専門的対応
- (3)機能3：認知症高齢者見守りネットワークによる徘徊者保護の強化

1. 機能1「要援護者名簿に係る同意確認・名簿整備」

(令和4年度発送対象者)

- 高齢者(要介護3～5、要介護2以下で認知症高齢者の日常生活自立度Ⅱ以上の方)
- 身体障がい者【1・2級】
- 知的障がい者【A】
- 精神障がい者【1級】
- 視覚障がい、聴覚障がい【3・4級】
- 音声、言語機能障がい【3級】
- 肢体不自由(下肢、体幹機能障がい)【3級】
- 難病をお持ちの方

ア 郵送による同意確認

発送地域	新規対象者	再発送数	回答数	同意件数	不同意件数
14地域	432人	269件	375件	180件	195件

※同意の方については事業説明と提出書類の内容確認を行う。

※不同意の方については、事業説明、現状把握、不同意理由の確認を行う。



西区見守り相談室

マスコットキャラクターきずなちゃん

イ 見守り員連絡会の開催

同意回答者について、地域提供リストを作成し、地域社協や連合、ネットワーク委員会、民生委員児童委員協議会等へ「要援護者情報」としてリストを提供している。それに基づき各地域の住民が「見守り員」として対象者へ向けた訪問、電話等による平時の見守り活動が開始されている。

令和4年度 見守り員連絡会開催数(のべ回数)	36回
------------------------	-----

地域別見守り進捗状況

地域名	見守り対象者人	見守り員	
		人数	主な構成員
西船場	34	7	社協会長、連合会長、民生委員、女性会、見守りコーディネーター
江戸堀	82	10	社協会長、民生委員、主任児童委員、女性会、見守りコーディネーター
靱	25	6	社協会長、連合会長、民生委員、女性会、見守りコーディネーター
明治	19	8	社協会長、連合会長、町会長、民生委員、見守りコーディネーター
広教	102	9	社協会長、連合会長、民生委員、主任児童委員、見守りコーディネーター
西六	77	10	社協会長、民生委員、主任児童委員、女性会、見守りコーディネーター
堀江	109	32	社協会長、連合会長、町会長、民生委員、主任児童委員、女性会、見守りコーディネーター
高台	64	13	社協会長、民生委員、主任児童委員、女性会、見守りコーディネーターなどネットワーク委員
日吉	84	9	社協会長、連合会長、民生委員、主任児童委員、見守りコーディネーター、女性会
千代崎	41	5	社協会長、連合会長、民生委員
本田	139	14	社協会長、連合会長、町会長、正副福祉部長、民生委員、女性会、見守りコーディネーター
九条東	56	2	社協会長、女性会、見守りコーディネーター
九条南	65	17	社協会長、連合会長、民生委員、主任児童委員、見守りコーディネーター、ネットワーク委員
九条北	152	12	社協会長、連合会長、民生委員、女性会、青少年福祉委員
合計	1050	155	

2. 機能2「孤立世帯等への専門的対応」

ア 相談件数 (件)

合計	訪問	電話	来所	手紙・メール	その他
2116	336	1512	27	60	181

イ 相談実人員 (人)

相談実人員	男	女	不明
769	296	473	0

ウ 対象者属性内訳 (人)

要支援・要介護の高齢者	要支援・要介護以外の高齢者	身体障がい者・児	知的障がい者・児	精神障がい者・児	発達障がい者・児	難病	引きこもり	ごみ屋敷	生活困窮者	子育て中の保護者	その他 (65歳未満・障がいなし)
421	24	263	44	6	0	2	0	0	1	0	8

エ 相談内訳 (件)

経済・生活問題	福祉サービス	保健・医療	介護	子育て	就労	いきがいづくり	虐待	家族・家庭問題	見守り訪問	ごみ屋敷	その他
118	112	35	23	0	5	0	5	17	1865	27	116

オ 関係機関・地域団体等との連携 (件)

	合計	地域団体等	民生委員協議会	区社会福祉協議会	社会福祉施設・介護サービス事業者等	学校・園	行政機関	専門相談機関	地域包括支援センター	本人	家族	医療機関・病院	地域住民	その他
相談元	218	28	5	1	7	0	4	4	2	68	70	1	8	20
連携先 (支援連携)	326	37	6	10	57	0	51	11	71		32	8	3	40
つなぎ先 (結果)	56	2	0	1	24	0	3	1	0		11	7	0	7

3. 機能3「認知症高齢者等の行方不明時の早期発見」

認知症高齢者等が行方不明になった場合に、警察捜索の補完的なものとして、早期発見・保護につなげる仕組みとして事業展開を行っている。事業協力者については、令和5年4月末現在で90件の登録数となっている。

7 西区地域福祉見守り活動応援事業

平成25年度からの実施事業。各地域会館を拠点とし、各地域1名見守りコーディネーターを配置。地域の高齢者・障がい者で支援の必要な方の見守り活動を行う。また、地域の高齢者・障がい者の孤立を防ぎ地域のつながりをつくっていくため、これまでコミュニティにかかわりを持っていなかった人への見守り活動や各関係機関やライフライン事業等とのつなぎ役として活動を展開している。平成27年度からは、大阪市全域で実施されている『要援護者見守りネットワーク強化事業』との連携を行い、地域内での見守り組織と連携し、活動を展開している。

1. 見守りコーディネーターの活動状況

- ・オンラインやハイブリッド、感染予防策をとりながら連絡会を開催し、活動報告や情報交換を実施。
- ・コロナ禍であっても感染予防策をとりながら各地域にて訪問や電話にて高齢者・障がい者の見守り活動を行う。
また、必要に応じて、各関係機関と連携し必要なサービスなどへつなぐ。
- ・高齢者、障がい者の支援に必要なスキルアップ、オンラインでつながる方法の勉強会を開催。

2. 令和4年度見守りコーディネーター勉強会及び研修 一覧

日程	参加者数	内容
第1回 (7/8) 第2回 (12/9)	12	(1)消費者問題 見守り者向け講座 (2)見守り相談室の役割 (見守り強化NW事業)
その他		オンライン研修、人権研修など

3. 令和4年度 西区見守りコーディネーター活動報告

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
電 話	268	226	200	209	185	227	127	213	249	176	197	188	2,465
来 所	1095	1049	1299	1092	638	1123	1139	1064	1104	861	1063	1248	12,775
訪 問	261	301	281	264	277	357	278	281	293	259	285	311	3,448
総件数	1624	1576	1780	1565	1100	1707	1544	1558	1646	1296	1545	1747	18,688
関係機関との調整	109	91	138	114	120	138	132	85	126	115	115	144	1,427



見守りコーディネーター連絡会



研修会

8 生活支援体制整備事業

高齢者が住み慣れた地域で自分らしく元気で暮らし続けることができるよう、介護予防に取り組める場や地域のつながりづくりができる場の創出、社会参加の促進、医療・介護サービスでは補いにくい日常生活の些細な困りごとに対応できる仕組みづくりを関係機関と連携して取り組んでいる。

1. ニーズと地域資源の把握・ネットワークの構築
 - ・生活支援体制整備事業協議体の開催 2回
 - ・各種関係会議への出席（西区高齢者障がい者支援連絡会、4事業者連絡会、見守りコーディネーター連絡会 等）
2. 地域資源・サービスの立上げ支援、講座の開催等
 - ・高齢者が参加・活躍できる場の立ち上げ支援、休止している場の再開支援
ひばりの会、そんぽの認知症カフェ、阿波座セントラルハイツ百歳体操、スマホの時間ですよ（スマホ教室） 等
 - ・介護予防や担い手の養成に関する講座
健康ウォーキング教室 参加者14名
つながるウォーキング講座 参加者20名
おもちゃ病院Dr.養成講座 参加者10名
楽しく学んで教えよう！LINEつながり隊 参加者20名
 - ・介護予防に資する場の開催
60歳からのカラダのつくり方サークル 23回開催 のべ参加者696名
3. サービス実施情報等の周知
 - ・サロン&立ち寄り処マップ・カレンダー発行（毎月発行）
 - ・ケアマネジャー向け西区地域資源情報冊子発行



ひばりの会



つながるウォーキング講座

9 生活福祉資金貸付業務

低所得者、障がい者または高齢者の世帯を対象に資金の貸付と民生委員による必要な生活支援を行う事により、経済的自立および生活意欲の助長促進ならびに在宅福祉および社会参加の促進を図り、安定した生活を支援する。

令和4年度 運用状況（相談、対応件数）

（件）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	貸付決定数
(1) 総合支援資金	3	4	4	3	2	2	0	0	6	4	0	4	32	0件
●臨時特例つなぎ資金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
●自立相談支援機関からの 情報提供及び相談件数	2	1	2	0	0	0	0	0	1	1	0	2	9	
(2) 福祉資金（小口除く）	貸付	8	3	14	8	11	1	0	5	16	0	4	74	3件
	償還	0	0	2	0	0	0	0	2	0	0	0	4	
緊急小口資金	貸付	11	8	10	10	9	0	10	32	27	35	27	197	12件
	償還	0	6	0	0	0	0	2	0	0	2	1	11	
(3) 教育資金	貸付	4	8	0	1	1	1	7	2	10	12	9	63	2件
	償還	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	
(4) 不動産担保型 生活資金	貸付	0	0	3	2	0	2	3	0	0	0	0	10	0件
	償還	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計(相談件数、償還除く)		28	24	33	24	23	6	20	39	60	52	40	385	17件

令和4年度 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた特例貸付制度 運用状況

（大阪府社会福祉協議会より受付事務を受託／令和2年3月25日～）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
緊急小口資金 受理	33	34	33	36	50	54	5						245件
総合支援資金 受理	28	36	35	23	33	67	8						230件
総合支援資金（延長）受理													0件
総合支援資金（再貸付）受理													0件
合計	61	70	68	59	83	121	13	0	0	0	0	0	475件

電話相談 緊急小口資金 889件 総合支援資金879件

10 生活困窮者自立相談支援事業 ぶらっとほーむ西（みなと寮・西区社協共同体）

1. 事業内容

平成27年4月2日から施行された生活困窮者自立支援法に基づく事業で、生活・自立に関する

包括的な相談窓口であり、大阪市西区においては、ぶらっとほーむ西が行っている。

下記の法定事業等を展開しており、それらを利用するためのプラン策定についてもぶらっとほーむ西が行っている。また、下記以外にも無料法律相談や各種制度利用に向けた同行支援なども実施している。

- ・住居確保給付金(失業者等に向けた家賃相当額給付制度)
- ・就労チャレンジ事業(一般就労の前段階における日常生活自立を支援)
- ・家計改善支援事業(家計に関する課題を整理・相談)
- ・子ども自立アシスト事業(学習等に課題のある児童の進路相談など)
- ・認定就労訓練事業(一般就労に向けての支援付き訓練就労)
- ・自立相談支援機関による就労支援

2. 令和4年度実績

- ・新規相談受付数 424件（前年度569件）
- ・プラン策定件数 123件（前年度225件）

相談者の類型別（性別・年齢別）

男性227人 女性197人 不明0人

プランの内訳（重複あり）

住居確保給付金	80件
家計改善支援事業	0件
就労チャレンジ(就労準備)	0件
就労チャレンジ(認定就労訓練)	0件
自立相談支援事業による就労支援	77件
生活福祉資金貸付	2件
生活保護受給者等就労自立促進事業	1件

10歳代	2件
20歳代	106件
30歳代	92件
40歳代	74件
50歳代	61件
60～64	23件
65歳以上	59件
不詳	7件

1 1 大阪府共同募金会 西地区募金会

主な業務

- ・10月～12月に実施される共同募金運動による募金の受付
各地域や学校・園、各種団体からの募金を受付及び会計事務
- ・共同募金配分金業務
- ・理事会の開催

1 2 日本赤十字社大阪府支部西地区

主な業務

- ・各奉仕団からの社資募集の受付及び会計事務
- ・各奉仕団あて、還元金等の事務
- ・各奉仕団あて、災害援助物品等の支援物品の調査及び配布など

1 3 あんしんさぽーと事業

あんしんさぽーと事業（日常生活自立支援事業）は、認知症・知的障がい・精神障がいなどにより判断能力が不十分な方を対象に、契約（意思の確認が必要）により福祉サービスの利用や日常の金銭管理を手伝い、安心して生活が送れるよう支援する事業として実施している。

1.相談援助件数累計（問い合わせ・相談援助件数） (件)

対象者 事項	認知症 高齢者	知的障がい 者等	精神障がい 者等	不明・その 他	合計
問 合 せ 件 数	0	0	0	2	2
初回相談件数	5	0	1	0	6
相談援助件数	801	217	654	5	1,677
令和4年度 累 計	806	217	655	7	1,685

2.契約締結件数累計 (件)

対象者 事項	認知症 高齢者	知的障がい 者等	精神障がい 者等	その他	生活保護 (再掲)	合計
契 約 者 数	1	0	1	0	(2)	2

3.終了件数累計 (件)

対象者 事項	認知症 高齢者	知的 障がい者等	精神 障がい者等	その他	合計
終 了 者 数	4	1	0	0	5

4.現在の実利用人員 (人)

対象者 事項	認知症 高齢者	知的 障がい者等	精神 障がい者等	その他	合計
実 利 用 人 員	17	3	12	0	32

1 4 通所介護（デイサービス）事業

西区在宅デイサービスセンターは、介護保険施設であり、西区在住の要支援1・2 要介護1～5の方を対象に送迎、入浴、手作り昼食、レクリエーション等のサービスを提供している。ご家族や地域との絆、ふれあいを大切にサービス提供をしている。

1.開所日数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月
開設日数(日)		20	19	22	20	22	20
介護給付	月間実利用者数 (人)	25	23	27	28	29	29
	月間延利用者数 (人)	154	156	204	183	183	191
予防給付	月間実利用者数 (人)	10	9	8	7	7	5
	月間延利用者数 (人)	55	47	51	35	47	29
月間延利用者合計 (人)		209	203	255	218	230	220

		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開設日数(日)		20	20	20	19	19	22	243
介護給付	月間実利用者数 (人)	27	27	25	26	26	27	319
	月間延利用者数 (人)	194	191	174	159	176	198	2,163
予防給付	月間実利用者数 (人)	5	5	7	5	4	4	76
	月間延利用者数 (人)	31	30	36	28	24	26	439
月間延利用者合計 (人)		225	221	210	187	200	224	2,602

定員18名 1日平均利用者数12人

2.一日の流れ

午前	送迎 看護師による健康チェック、お茶 入浴（希望者）、個別活動
	昼食
午後	レクリエーション ティータイム
	送迎

例年であれば、季節の行事や学生の実習、地域学校の職場体験などを行っているが、今年度は新型コロナウイルス感染症予防のためその多くが中止となった。手洗い、消毒、アクリル板の設置、密を避けた対応など、利用者の安全を第一に事業を実施した。



ダイニング（机にアクリル板を設置）



レクリエーション（マスク着用）

15 地域包括支援センター事業

平成18年度から大阪市より受託している。現在の受託は令和2年度から5年度末の4年間。専門職種が高齢者に関する総合相談、支援、関係機関との調整やネットワーク強化を行っている。

1. 総合相談支援業務

業務内容	相談件数	内 容
総合相談 (延数)	訪問 2,008 件 電話 7,370 件 来所 1,056 件 その他 387 件 合計 10,821 件 (前年度比+1,597件) うち認知症3,797件 (前年度比+665件) 実人員1,390件 (前年度比+115人) うち認知症340件 1ケースあたりの 対応回数平均7.7回 上記外簡易相談38件	本人・家族、地域支援者、介護事業者、医療機関、関係団体などから高齢者の相談を総合的に受け付けている。 本人・家族の状況を把握し、必要な支援を行う他、関係機関の紹介など、ネットワークを駆使した支援を展開している。 地域包括支援センターの窓口での相談だけでなく、地域の会館や集会所や立ち寄り処などに出向いての出張相談を行うなどアウトリーチに力を入れているが、コロナウイルス感染防止対策で訪問等ができない場合は、電話での聞き取りも行ってきた。なお、花乃井中学校地域では、花乃井地域在宅サービスステーションに包括のランチとして総合相談業務を委託し連携して支援を実施している。ランチの相談件数はこの相談件数とは別に、相談延べ件数が866件、実人員133人であった。

1ケースあたりの平均対応回数は7.7回であった。平均的には支援困難事例になる前の初期段階で相談が上がり、支援につながっていると考えられる。

コロナの影響が令和元年度から令和2年度の相談実員は微増だったが、令和2年度から令和3年度は相談実員が10.3%増加、延べ相談件数は21.3%増加、令和3年度から令和4年度は実人員が159人(12.9%)増、延べ相談件数は1,597件(17.3%)増加している。虐待については通報の意識が高まったのか108件増加している。成年後見制度についての相談については、司法書士など専門家と連携を取り支援している。

また、平成28年から認知症支援に特化した認知症初期集中推進支援事業(西区オレンジチーム)を受託し平成29年度からは認知症強化型地域包括支援センターとして機能している。

月別相談受付実件数

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実件数	684	716	754	723	770	812	856	879	869	835	820	832	9,550

相談経路

(件)

本人	家族	ケアマネ	住民	民生委員	見守り	町会		ボラ	包括	介護	障がい	医療	後見人	行政	
2,880	2,288	1,709	119	41	204	102		0	54	700	100	752	14	1084	
									プランナ	認知症	医療C	生活C	見守り	その他	合計
									144	319	9	6	74	222	10,821

月別では、4月が700件を下回ったが、以降は増加傾向で11月が最も多かった。相談経路では本人・家族・介護事業者・障がい関係・行政からの相談が増えている。相談窓口としての周知に力を入れてきた成果であると考えられる。

2. 権利擁護業務

(件)

489件	虐待に関すること	343
	成年後見制度の活用	136
	消費者被害に関すること	10

地域ネットワークにおける成年後見制度受理件数 4件

3. 包括的継続的ケアマネジメント支援

介護支援専門員からの個別相談	1,709 件	支援困難ケースの対応など地域の事業所の介護支援専門員に対して後方支援を実施。
居宅介護支援事業者連絡会	12回 (定例月1回)	居宅介護支援事業者の資質向上のため連絡会を開催し、必要な情報提供や研修会などを実施。
(事務局)	研修会 6回	研 修 会 5/19「障がい福祉サービスについて」 7/21「成年後見制度について」 9/15「認知症の診断・治療について」 11/17「居宅介護支援事業所運営の留意点について」 1/19「虐待防止研修会」 3/16「多職種交流会」 計6回 多職種交流会は集合・その他オンラインで開催

4. 会議等

地域ケア会議	個別ケース検討 17回 振り返り会議 6回 課題のまとめ会議 10回 自立支援型検討会議 12回 課題対応のための会議 0回	支援困難ケースについて、情報共有や支援方針の検討等、地域支援者やサービス事業者などが一堂に会し、総合調整を行う個別ケース検討会議を実施している。 個別支援方法について、スーパーバイザーの助言を得てまとめ会議を開催し、個別ケースの積み重ねから西区の課題を抽出し、高齢者支援部会等で報告と検討を行い高齢者支援計画をたてている。 平成30年度からは自立支援ケアマネジメント検討会議が地域ケア会議に位置付けられ、平成31年度から毎月実施している。コロナ禍ではオンラインも活用して開催した。
その他ネットワーク構築のための会議	369回 前年度比+46	地域ネットワーク委員会、見守りコーディネーター連絡会、立ち寄り処(すみれ、シャラナム、ほっこりサロン)などへの参加。
地域等との関係づくり	1,858回 前年度比+259	関係機関や地域関係者に対してネットワーク構築の前段階としてなじみの関係づくりのための訪問活動。
高齢者障がい者支援連絡会	6回	高齢者・障がい者支援を必要とする複合的複雑な問題を抱えた事例が増えておりそれぞれの支援者が円滑に連携支援できるよう平成26年9月に連絡会議を立ち上げ、奇数月に開催している。
高齢者支援担当者部会	2回	高齢者を支援している関係機関の代表者が集い、地域で起きている身近な高齢者に関する話題について情報共有、検討。27年度から開催している。
ランチ連絡会	6回	花乃井ランチと情報交換や事業実施についての検討を行い連携を図る。
区運営協議会への出席	3回	
地域密着型サービス運営推進会議への参加	22回 (6事業所)	介護保険法で開催が義務付けられている事業所の運営推進会議に参加し、サービスの質の向上等に寄与している。書面会議含む。
包括会議	12回	包括職員間の情報共有、研修の伝達報告、評価・事業計画のための会議、地域診断のための会議など。
事例検証会議	6回	保健福祉センターも参加して総合相談ケースの支援検討、情報共有。虐待ケースの進捗管理を行っている。
認知症出張講座	15回	地域住民等に対し認知症について周知啓発を地域で実施。

認知症サポーター 養成講座	12回	認知症の理解と啓発として認知症高齢者と家族を地域で支援するための講座。地域住民や学校、金融機関などに向けて実施。西区社協（定例講座）、金融機関、企業、歯科学院、中央図書館、ボランティアグループ、地域団体等
認知症等高齢者 支援地域連携事業 連絡会議	6回	医師会委託事業を共催。医師会、歯科医師会、薬剤師会、訪問看護事業者連絡会、居宅介護支援事業所連絡会、保健福祉センター、地域包括支援センター、オレンジチーム。
4事業者連絡会	5回	平成29年9月～隔月開催。 地域包括支援センター、認知症初期集中支援事業、在宅医療・介護連携推進事業、生活支援体制整備事業。ランチと保健福祉センターも参加。

会議開催 2,192回、参加 183回 合計 2,375回

5. 介護家族支援関係事業

事業名	開催回数	内 容
高齢者 介護家族の会 (あざみの会)	休止中	高齢者を介護する家族間の交流を通して相互の情報交換や専門職からの情報提供を行う。平日昼間に参加できる家族がいないため休止中。家族支援は個別対応中。
家族介護 支援事業 (ランチと共催)	1回	高齢者を介護する家族を対象に情報提供・意見交換を行う機会の提供等を通し、介護者の介護負担軽減や心身のリフレッシュを図る。適切な介護知識・技術や各種サービスの利用方法の習得、認知症の理解・普及、当事者組織の育成・支援を行う。令和4年度は認知症VR（疑似）体験を開催。VRを使って認知症の方の視点を疑似体験することで、認知症の方が見える世界を体験し、認知症の理解を深めた。
認知症の方を 介護している 家族のつどい	4回	認知症の方を在宅で介護している同じ立場の介護家族どうして話し合う場・情報を得る機会を設けるため平成24年度から、参加者に負担がかからないよう4回実施。毎回、初めて参加の方がいる。前半は講演、後半に座談会開催。今年度は若年性認知症の当事者の方のお話を聞く機会を設けた。

6. 介護予防支援・介護予防支援ケアマネジメント（総合事業）ケアプラン作成件数

要支援1・2の認定者に対し、要支援状態の改善や重度化予防のためケアマネジメント支援を行う

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護予防支援（包括）	12	12	11	10	10	10	9	8	8	8	7	7	112
介護予防支援（一部委託）	396	396	400	396	397	393	398	404	399	398	396	397	4,770
ケアマネジメント （包括）	4	10	12	12	12	12	8	7	5	6	9	11	108
ケアマネジメント （一部委託）	292	294	291	287	276	286	281	268	272	276	281	267	3,371
合計	704	712	714	705	695	701	696	687	684	688	693	682	8,361

一部委託契約しており実働している居宅介護支援事業所数 61か所

7. その他

(1) 支援システム

徘徊行方不明高リスク高齢者の支援システム作り（オレンジチーム、西警察署と協働）

(2) 発行物

西区地域包括支援センターニュース（包括レンジャー） 平成21年9月～ 毎月1日に3,500部発行 区内外約210か所に設置・掲示・配布 西区社会福祉協議会ホームページにも掲載、毎月更新	毎月発行
西区高齢者便利帳 第27号（春号）、第28号（秋号） 各500冊	年2回更新

1 6 認知症初期集中支援推進事業

1. 認知症初期集中支援チーム活動

認知症になっても住みなれた地域で生活ができるよう、早期発見・早期対応を軸に専門のチーム（医療職・介護職・福祉職）が相談・訪問等で支援する。

(1) 支援状況

支援対象者（対象者数 40件）の内訳

性別	男	23	相談把握 経路	別居家族	15
	女	17		同居家族	6
年齢	64歳以下	1		医療機関（病院）	6
	65～69歳	0		ケアマネジャー	4
	70～74歳	5		医療機関（開業医）	1
	75～79歳	9		区役所（ケースワーカー）	1
	80～84歳	14		区役所（保険年金）	1
	85～89歳	7		包括支援センター	1
	90歳以上	4		身元保証会社	1
世帯 状況	独居	17		チーム	1
	夫婦	15		推進員	1
	配偶者と同居	5		地域住民	1
	子世帯と同居	1		見守りコーディネーター	1
	兄妹と同居	1			
	孫と同居	1			

(2) 鑑別診断

アルツハイマー型認知症	6	アルツハイマー型認知症+血管性+アルコール	1
脳梗塞	1	妄想性障がい+認知症	1
MCI	4	MCI+遅発性パラフレニー	1
認知症（病型不明）	6	血管性認知症（ビンスワンガー病）	1
老人性精神病	1	認知症でない（健常）	2
レビー小体型認知症	4	鑑別診断なし（原因不明）	1
アルツハイマー型認知症+レビー小体型認知症	1	なし（未診断）	6
アルツハイマー+血管性認知症	2	支援中	2

2. 認知症地域推進員における普及啓発活動

認知症の方の視点に立った認知症の理解を地域で深め、社会全体で認知症の方を支える地域づくりを推進する。

(1) 講演会等に講師・情報提供者として参加

- ・認知症サポーター養成講座（図書館、企業等）
- ・介護家族のつどい
- ・出張相談窓口
- ・各地域会館や認知症カフェ等つどいでの認知症講座

(2) 認知症の方を支援する取り組み

- ・認知症カフェ運営後方支援

(3) 若年性認知症の取り組み

- ・若年性認知症相談窓口ポスターの作成および区内広報板等での掲出

(4) 関係機関との連携

- ・4事業連絡会
- ・高齢者障がい者支援連絡会
- ・高齢者支援担当者部会

1 7 介護予防教室事業

介護予防教室事業は65歳以上の方で生活機能の低下の恐れが高いと認められた方を対象に、年齢を重ねても自分らしくいきいきと生きがいをもって暮らすための取り組みとして実施している。

1. 選択型通所サービス

対 象 …… 要支援1・2 チェックリスト該当者

実 施 曜 日 …… 月曜日の午前中

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施回数	2	5	4	3	5	3	4	4	4	3	8	8	53
延人数	2	24	31	22	26	16	13	8	4	12	23	28	209

2. 閉じこもり等予防事業（なにわ元気塾） ※西区では「いきいき教室」として実施。

(人)

実施場所	回数	一般 参加者数	ボラン ティア	実施場所	回数	一般 参加者数	ボラン ティア
西 船 場	12	114	0	高 台	12	69	0
江 戸 堀	12	128	0	日 吉	12	130	0
靱	12	60	0	千 代 崎	12	64	0
明 治	12	74	0	本 田	12	152	0
広 教	12	80	0	九 条 東	12	68	0
西 六	12	84	6	九 条 南	24	179	7
堀 江	11	104	11	九 条 北	24	114	0
				合 計	191	1,420	23



18 西区老人福祉センター

西区老人福祉センターでは、市内に在住の60歳以上の方に健康で楽しい生活をしていただくため各種の相談に応じ、健康増進や仲間づくりの機会の提供などの事業を行っている。また、西区老人クラブ連合会の事務局も併設している。

- ・各種教養講座や健康づくり講座の開催
- ・自主的活動（サークル活動や同好会）の支援
- ・レクリエーション活動の機会の提供

1. 令和4年度 西区老人福祉センター利用状況

開館日数	293日
延利用人員	18,206人
更新・新規登録人員	449人
1日平均利用人員	62.1人

個人利用内訳 ※その他は、60歳未満の来館者・（ ）内は登録者数

人 員 性 別		利用者 区 分	個 人 利 用	団 体 利 用		計
				件数	人 員	
累 計	男	老 人	4, 9 8 4 (9 9)	2 9	1 1 3	5, 3 4 9 (9 9)
		その他	2 2 1		3 1	
	女	老 人	1 2, 5 5 9 (3 5 0)		7 6	1 2, 8 5 7 (3 5 0)
		その他	1 4 8		7 4	
	計			1 7, 9 1 2 (4 4 9)	2 9	2 9 4

2. 令和4年度 西区老人福祉センター サークル活動状況

サークル名	実施回数	男性	女性	合計人数
書道	15	14	162	176
編物	21	0	75	75
お茶	0	0	0	0
民踊	23	0	133	133
詩吟	17	34	97	131
俳句	10	20	41	61
お花(A)	21	0	73	73
お花(B)	20	0	118	118
お花(C)	22	0	107	107
民謡	21	31	226	257

サークル名	実施回数	男性	女性	合計人数
整体セラピー	24	0	225	225
カラオケ	20	71	146	217
アート九条	20	0	178	178
絵手紙	22	22	276	298
唱歌	14	27	58	85
俳画	23	20	246	266
たんぽぽ	23	32	234	266
ペインティング	21	3	89	92
手芸	13	0	115	115
フラダンス	24	0	506	506
コーラス	1	0	10	10

サークル名	実施回数	男性	女性	合計人数
ヨガ	12	0	327	327
和太鼓	21	35	76	111
オカリナ	0	0	0	0
お琴	23	1	147	148
絵文	24	0	150	150
健康太極拳	24	43	278	321
健美体操	8	0	114	114
ピアノで歌おう	12	15	178	193
雀の学校	12	4	79	83

合計	
実施回数	511
男性人数	372
女性人数	4464
合計人数	4836

3. 令和4年度 西区老人福祉センター事業報告

※コロナ禍により一部事業中止

事業名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
いきいき 百歳体操	毎週 月・木	中止	21日～ 月・木	毎週 月・木	毎週 月・木	毎週 月・木	毎週 月・木	毎週 月・木	毎週 月・木	毎週 月・木	毎週 月・木	毎週 月・木	285回 4,632人
はっぴーサロン	中止	中止	中止	中止	中止	中止	中止	中止	中止	中止	中止	中止	事業中止
包括出張相談会				14(木)	18(木)	8(木)	13(木)	10(木)	8(木)	12(木)	9(木)	9(木)	9回 147人
歩こう会													事業中止
作品展							26(水)						1回 103人
百歳まで自分の足で 歩ける身体を作ろう										13(金)			1回 20人
ゆつたり エアロ 楽しい			14(火)	12(火)		13(火)		8(火)	13(火)		14(火)	14(火)	7回 139人
リトミック	14(木)	12(木)		14(木)		8(木)	13(木)				9(木)	9(木)	7回 140人
ボールとチュー プでストレッチ	7(木)		9(木)			1(木)	6(木)		1(木)		2(木)	2(木)	7回 137人
レクリエーショ ンとタオル体操	20(水)	18(水)		20(水)				16(水)	21(水)	18(水)		15(水)	7回 138人
かなえる 健康広場								10(木) 24(木)	8(木) 22(木)	12(木) 26(木)			6回 113人
すこやかマッ サージ&ダンス	中止	25(水)	29(水)		24(水)	28(水)				25(水)	22(水)		6回 120人
おもしろ体操		中止	2(木) 28(火)	7(木) 26(火)	4(木) 23(火)								6回 108人
ウェルネス ダーツ教室						23(土) 世代間 交流		30(水)	23(金)	31(火)			4回 65人
らくてん西寄席				30(土)							25(土)		2回 39人
ニュースポー ツ大会					8(月) ｽｰﾌﾟｲｽ						2(木) ﾎｯﾁﾔ		2回 55人
骨・カルシウム セミナー										27(金)			1回 15人
スマホ講座												23(木)	1回 18人
くらしを守る 講座		20(金)											1日3回 112人
防犯講座	21(木)												1日3回 45人
アヤカルネット					30(火)								1回 20人
講師・世話人会						7(水)						1(水)	1日2回×2回 71人
その他			22(水) ﾚﾝﾄﾞﾍﾞﾝ		25(木) 終活講座	30(金) ﾎﾞｸﾞ講座	5(水) 健康講座						4回 64人
卓球(A)	第二月曜・第四月曜の午前												18回 394人
卓球(B)	第二月曜・第四月曜の午後												17回 257人



すこやかマッサージ&ダンス



スマホ教室



ダーツ教室

19 西区子ども・子育てプラザ事業

1. 子育て活動支援事業

乳幼児親子や児童、世代間の交流を目的とした季節の行事やユニバーサルスポーツの開催及び家庭での子育て力の向上を目的とした離乳食の作り方や父親向け等の講座を実施した。一方でプラザを利用しにくい世帯へのアウトリーチとして「出前講座」や公園を活用した「シャボン玉で遊ぼう!」を感染対策をおこないながら継続開催した。また、子育て支援連絡会に事務局として交流会「てをつなごう!」や情報紙の作成を通じて子育て支援関係者の連携協働を促進し、地域における子育て支援活動の推進をはかっている。

- ・ホームページの新規立ち上げ、広報紙作成、インスタグラムへの記事掲載
- ・子育て活動を行うグループに対する活動への助言や活動場所の提供
- ・プラザを利用しにくい方に向けて出前講座を実施（アウトリーチ事業）
- ・自由な遊び場の提供やボランティア活動、児童向け講座の実施（児童健全育成事業）

利用者数	13,607人
開設日数	306日



【バスケットボール教室】

2. ファミリー・サポート・センター事業

子どもの預かり・幼稚園・保育所などの送迎や、臨時的・突発的な保育ニーズに応えるために、子育ての援助ができる人（提供会員）と援助を受けたい人（依頼会員）とをマッチングし、会員による相互援助活動の実施調整及び会員同士の交流会・研修会（不登校児童の現状）を開催した。また、「ファミリー・サポート・センター提供会員養成講座」を単独開催し、新たな活動者の発掘・養成に取り組んでいる。

援助活動件数
480件

登録会員数	151人
依頼会員	103人
提供・両方会員	48人



【養成講座】

3. 地域子育て支援拠点事業（つどいの広場）

乳幼児期（就学前）の子どもの遊び場として保護者が気軽に利用できる「つどいの広場」の開催や絵本の読み聞かせ、親子リトミック、ブックスタート、相談会等の実施を通じ、保護者同士の交流を促進、「孤育て」防止につなげている。また、これから保護者になる層向けに「プレママ・プレパパ講座」を実施し新たな子育て世帯への支援やコロナ禍で講じられていた利用時間及び人数制限等の一部を段階的に緩和し利用しやすい環境整備をおこなった。

- ・子育て親子の交流の場の提供と交流の促進
- ・子育てに関する相談及び援助の実施
- ・ブックスタートの実施（絵本の配付と図書館司書による絵本の解説等）

利用者数	6,621人
開設日数	246日



【つどいの広場】

20 コミュニティ育成事業

平成31年に西区役所より事業を受託。

地域コミュニティの活性化と地域の福祉力向上のため子どもから高齢者まですべての住民が参加できる事業・イベントを区内の5団体（青少年福祉委員連絡協議会、青少年指導員連絡協議会、子ども会連合協議会、スポーツ推進委員協議会、視聴覚教育協議会）や地域振興会、三師会、消防署、警察署、区民センター、老人福祉センター、子ども・子育てプラザ・更生保護女性会、ボランティア・NPO団体、民間企業など多くの地域団体と協働で、住民主体の事業実施を支援。

【事業実績】

1. 西区民まつり「体育と防災のつどい」

開催日時 令和4年10月2日(日) 午前9時～午後1時

会場 松島野球場

参加者数 1000人

開催内容 本年度の「体育と防災のつどい」は、新型コロナウイルス感染症の発生により令和2年度・3年度は中止となり、4年度は3年ぶりの開催となる。感染症拡大防止の観点により、午前中だけのプログラムで規模を縮小した。その中で、体育の部と防災の部のプログラムを企画し、多くの方が参加しやすい競技と支部対抗競技で参加賞の景品を取り入れ実施した。



女性会による総踊り



「防災の部」バケツリレー



「体育の部」玉入れ

2. 西区民まつり「文化と健康のつどい」

開催日時 令和4年11月6日(日) 午前9時30分～午後3時

会場 ハウスビルシステム西区民センター・大阪市立中央図書館・大阪市公文書館・堀江中学校体育館・花づくり広場・土佐公園とその周辺

参加者数 2万人

開催内容 ①西区民センターを中心に近隣施設を巻き込んだ広い範囲で開催。
②地域で文化的な活動をしている方の発表機会を提供。
③子どもから高齢者が楽しめるアトラクションや各種コーナー、模擬店の出店など、西区最大のイベントとして開催。



健康相談コーナー



作品展示



模擬店

3. 西区民たこあげ大会

開催日時 令和5年1月15日(日) 午前9時～午後1時

会 場 松島野球場

参加者数 1700人

開催内容 恒例となった「西区民たこあげ大会」は、子どもを中心に誰でも気軽に参加しやすい大会として、感染症拡大防止対策を徹底して開催した。当日はたこの販売とたこづくりコーナーたこ病院コーナーを設置した。



4. こどもワクワク映画会

開催日時 令和5年2月11日(土・祝) 午前11時～午後0時10分

会 場 ハウスビルシステム西区民センター

参加者数 148人(事前申込制:定員200人)

開催内容 上映作品:「すみっこぐらし とびだす絵本とひみつのコ」

対 象: 幼児から小学生とその保護者

申込方法: 社協ホームページからWEB申込

受付期間: 令和4年12月1日～12月5日 定員に達したため申込受付を終了する。



5. 情報発信事業

実施期間 令和4年4月～令和5年3月

内 容 コミュニティ育成事業の内容や西区で行われているコミュニティ情報を発信し、事業への理解を促すとともに、地域のネットワークの構築と向上を図った。

- ・区社協広報紙により年3回(6月、10月、1月)事業を周知。
- ・区広報紙により随時(7月、9月、11月、12月、1月)事業を周知。
- ・チラシ・ポスター、ホームページやSNSによる情報発信